

玉村町 文化財通信

2023年8月3日発行

(次号9月発行予定)

第16号



～らよっとそこまで古探訪～



玉村町歴史どうぶつ散歩 Vol.15

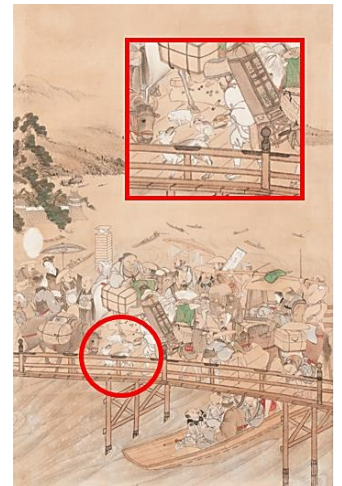
Vol.15・16と2ヶ月にわたり、幕末の文人画家・千輝玉斎ちぎらぎよさいの作品に描かれたどうぶつたちを紹介し、今月 Vol.15 では『橋上人物百態図』(当館蔵)に登場するどうぶつです。

千輝玉斎とは、寛政2年(1790)吾妻郡中之条に生まれ、24歳のとき中之条を離れ、玉村宿上新田村の籠屋萬屋(仙蔵娘い)に婿入りしました。通称幸兵衛または幸吉といい、「玉斎」は玉村にちなんだ雅号です。幼い頃から絵画を好み、人々を驚かせたといわれていますが、家業に余裕ができると画の道に励み、技を磨き才能を開花させました。

『橋上人物百態図』はもと『瀬田橋上人物百態図』と称され、琵琶湖畔瀬田の唐橋を思わせる構図で、橋上いっぱいには百人ほどの人物が描かれています。制作の年干支が見られないのですが、群青に代わるコバルトが用いられ、また緑青の発色度などから、幕末・明治初年に描かれたものと考えられています。

4幅ある作品のうち第2面に、六十六部¹の足元に描かれた可愛い三匹の犬がいます。白くて丸い犬と耳の垂れた犬、そして耳の立ったまだら模様の犬が表情豊かに描かれ、まるで六十六部を先導しているようにも見えます。江戸時代の犬の多くは、野良犬のような生活をしていました。16世紀末頃からポルトガル人などにより洋犬がもたらされ、大名などが権威のしるしとして飼育しました。当時の日本画や浮世絵には、在来犬と違った垂れ耳やまだらの犬が描かれ、洋犬が増えたことで、在来犬との交雑が進んだことがうかがえます。

¹ 法華経を66回写書して、一部ずつを66か所の霊場に納めて歩いた巡礼者。



玉村町歴史資料館 第28回企画展

「おぎょん - 玉村町の祇園祭 -」

講演会のお知らせ

「祇園祭と牛頭天王

-夏の祭礼にこめられた人々の願い-

日時: 令和5年9月2日(土)午後1:30~3:00

講師: 鈴木耕太郎氏(高崎経済大学地域政策学部准教授)

会場: 玉村町文化センター小ホール

定員: 100名(先着) 参加費: 無料

申込受付: 8月2日(水)より電話または窓口にて。

ギャラリートーク ※学芸員による解説

①8月3日(木)午後2:00~(30分)

②9月2日(土)午前10:30~(30分)

予約不要、参加無料

重田家住宅

～公開・活用にむけて⑯～

灼熱を避けて、早朝にボランティア御一同と敷地内の雑草除去を実施しています。

また、7月下旬には西側の畑で4万5千本の向日葵が凛と直立し首を重田家に向けて咲き誇りました。ご来場いただいた皆様、ありがとうございました。



(重田家住宅管理担当者)

今年度通常公開情報: 平日の水・木・金曜日、毎月第4土曜日 10:00~16:00(最終入館は15:30まで)なお、夜間の催事等はその都度対応します。都合により臨時休館あり。

文化財・歴史資料館 情報

8/26
(土)

夏休み特別企画
国登録有形文化財としての価値を知る

「重田家住宅」勉強会

講師：村田敬一氏（玉村町文化財調査委員会委員長）

時間：①午前10時～11時

②午後1時30分～2時30分

対象：①小学生・中学生 ※保護者可

②高校生・大学生 ※保護者可

参加費：無料

持ち物：筆記用具

定員：先着30名（各回）

場所：重田家住宅（玉村町小泉42）

申込：8月10日（木）より電話または窓口にて。

各自暑さ対策をしてください。



9/3
(日)

重田家住宅健康塾 午前10時～正午

～医家の歴史を持つ重田家住宅で健康づくり～

医家の歴史を持つ「重田家住宅」にて、(株)タニタヘルスリンクの健康セミナーを開催します。

ひまわりプロジェクト 種収穫イベント

午後1時～（3時終了目安）

詳細はホームページをご覧ください。



古文書長期講座（実践編）

日時：10月～3月の月1回（第3月曜日）午後1時～4時

対象：古文書経験者 定員：10人（先着順）

会場：文化財整理室 参加費：無料

講師：関口 荘右 氏（群馬県立文書館古文書係主幹専門員）

申込み：8月24日（木）～電話または歴史資料館窓口にて受付

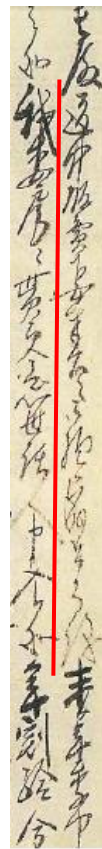
玉村町地域おこし協力隊員レポート④

重田家住宅を拠点にして地域活性化に取り組んでいる隊員の富澤のぞみです。7月8日（土）に重田家マルシェを行いました。お越しくくださった方、ありがとうございました！地域のみなさまを始め、町内外から多くのお客様にご来場いただき、大変賑わいました。私からは畑で採れた水ナスを使用したスムージーを作り、数量限定で試飲していただきました。「さっぱりとして美味しい♪」と、大好評で嬉しかったです！さて、私事ではありますが8月より産休として暫くお休みをさせていただきます。出産を機に、更に幅広い活動ができれば良いなと考えています。復帰後も頑張りますのでよろしくお願い致します！



古文書を読んでみよう！

幕末の玉村の中心的人物であった渡邊三右衛門陳好の記録である『三右衛門日記』の中の「女子引取一札」を毎回少しずつ読んでいきます。



第十六回目はこの文章を読んでいきましょう。

書き下し文：我等女房二貫受度以世話人申入候処、読み方：われらにようぼうにもらいうけたくもってせわにんもうし、いれそうろうところ、

現代語訳：私の女房に貰いたいため、縁談の仲介をする人に言ったところ、

（次号へ続く）

○玉村町誌別巻Ⅳ（三右衛門日記一）～別巻Ⅴ（三右衛門日記五）歴史資料館にて好評発売中！

☆ 発行 ☆

玉村町生涯学習課文化財係・玉村町歴史資料館（電話）0270-30-6180
☎370-1105 群馬県佐波郡玉村町大字福島325番地 玉村町文化センター内

